



2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正光

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 木暮 恵介

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	5,509	0.4	745	0.6	767	4.1	419	28.5
2022年6月期第1四半期	5,533	20.0	740	25.8	801	21.5	326	7.8

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 447百万円 (26.9%) 2022年6月期第1四半期 352百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	37.03	
2022年6月期第1四半期	28.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第1四半期	19,605	15,913	76.8	1,330.35
2022年6月期	19,408	15,854	77.4	1,322.79

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 15,053百万円 2022年6月期 15,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期				28.00	28.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,600	14.4	1,210	27.0	1,270	27.9	770	14.6	67.80
通期	18,500	11.7	2,130	14.9	2,240	17.2	1,370	13.3	120.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年6月期1Q	12,000,000 株	2022年6月期	12,000,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年6月期1Q	684,276 株	2022年6月期	643,056 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年6月期1Q	11,337,358 株	2022年6月期1Q	11,383,105 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立により正常化が進み、景気は持ち直しつつあります。しかし、ウクライナ情勢に端を発する資源価格の高騰や各国の金融引き締め政策等が国内経済に及ぼす影響に対しては、引き続き注視が必要になるものと思われま

す。国内建設市場におきましては、国土強靱化計画等を背景とする公共投資は底堅く推移し、民間設備投資にも持ち直しの動きがみられる一方で、建設資材の価格高騰等による企業収益の悪化が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。このような状況下で、当社グループは、全事業において新型コロナウイルス感染症への対応も十分に図りながら事業活動を展開してまいりましたが、リユース・リサイクル事業において売上高が減少したため、当四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は5,509百万円（前年同期比0.4%減）となりました。一方、利益に関しましては、営業利益は745百万円（前年同期比0.6%増）となったものの、受取保険金等の減少により経常利益は767百万円（前年同期比4.1%減）となりました。また、前年比で特別損失が大幅に減少しているため（前年同期は特別損失に「特別調査費用」を計上）、親会社株主に帰属する四半期純利益は419百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、年間を通じて売上高は第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に集中する傾向にあり、それに比して第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）の売上高は減少する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

(切断・穿孔工事事業)

主に高速道路の受注が増加したため、完成工事高は4,795百万円（前年同期比0.2%増）となりました。また、完成工事高の増加に伴い、セグメント利益は932百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に大手デベロッパーの新規案件開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は113百万円（前年同期比2.6%増）となりましたが、外注費等の増加により、セグメント利益は6百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、中古スマートフォン等の販売に係る新規の顧客開拓に努めてまいりましたが、商品売上高は600百万円（前年同期比5.6%減）となりました。一方、利益率の高い商品が売上の中心を占めたことにより、セグメント利益は55百万円（前年同期比754.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券が減少したものの、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し、19,605百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、3,691百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、15,913百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月12日に発表いたしました「2022年6月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,769,404	7,772,727
受取手形・完成工事未収入金	3,963,348	4,174,231
売掛金	114,563	79,600
未成工事支出金	1,373	—
商品	51,054	38,700
材料貯蔵品	138,129	145,075
その他	161,765	165,923
貸倒引当金	△7,744	△8,277
流動資産合計	12,191,894	12,367,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,824,308	2,866,178
減価償却累計額	△627,326	△658,307
建物及び構築物(純額)	2,196,982	2,207,870
機械装置及び運搬具	4,453,056	4,600,095
減価償却累計額	△3,603,541	△3,671,574
機械装置及び運搬具(純額)	849,515	928,520
工具、器具及び備品	155,285	154,350
減価償却累計額	△105,792	△107,701
工具、器具及び備品(純額)	49,492	46,648
土地	2,461,945	2,554,945
リース資産	167,559	168,134
減価償却累計額	△70,852	△75,539
リース資産(純額)	96,707	92,595
建設仮勘定	29,788	12,300
有形固定資産合計	5,684,431	5,842,880
無形固定資産		
のれん	295,965	278,178
その他	93,804	95,243
無形固定資産合計	389,769	373,422
投資その他の資産		
投資有価証券	622,269	512,196
繰延税金資産	215,801	215,098
長期未収入金	215,645	215,645
その他	307,130	296,845
貸倒引当金	△218,569	△218,874
投資その他の資産合計	1,142,276	1,020,912
固定資産合計	7,216,477	7,237,215
資産合計	19,408,371	19,605,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,014,367	1,127,086
買掛金	88,336	78,975
1年内返済予定の長期借入金	10,620	10,010
リース債務	31,846	53,458
未払法人税等	346,455	300,538
賞与引当金	74,822	312,905
その他	1,054,247	868,825
流動負債合計	2,620,694	2,751,799
固定負債		
長期借入金	177,605	175,560
リース債務	65,356	65,288
役員退職慰労引当金	265,165	234,400
退職給付に係る負債	353,864	357,164
その他	71,485	107,636
固定負債合計	933,476	940,049
負債合計	3,554,171	3,691,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	14,271,484	14,369,870
自己株式	△158,721	△214,873
株主資本合計	15,045,106	15,087,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,489	△16,205
退職給付に係る調整累計額	△13,788	△17,209
その他の包括利益累計額合計	△22,277	△33,415
非支配株主持分	831,370	859,420
純資産合計	15,854,200	15,913,346
負債純資産合計	19,408,371	19,605,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)
売上高		
完成工事高	4,896,951	4,908,760
商品売上高	636,246	600,723
売上高合計	5,533,198	5,509,483
売上原価		
完成工事原価	3,334,457	3,299,587
商品売上原価	539,665	418,972
売上原価合計	3,874,122	3,718,559
売上総利益		
完成工事総利益	1,562,494	1,609,172
商品売上総利益	96,581	181,750
売上総利益合計	1,659,076	1,790,923
販売費及び一般管理費		
営業利益	918,531	1,045,770
営業外収益		
受取利息	14	19
受取配当金	6,001	6,008
受取保険金	17,071	3,016
持分法による投資利益	19,529	11,812
雑収入	22,903	6,668
営業外収益合計	65,520	27,525
営業外費用		
支払利息	3,817	338
為替差損	—	2,851
売上債権売却損	—	7
不動産賃貸原価	644	—
支払補償費	257	1,317
雑損失	257	175
営業外費用合計	4,977	4,690
経常利益	801,087	767,988
特別利益		
固定資産売却益	4,520	452
保険解約返戻金	15,092	12,760
特別利益合計	19,612	13,213
特別損失		
特別調査費用	174,303	—
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	485	93
投資有価証券評価損	4,660	—
特別損失合計	179,449	93
税金等調整前四半期純利益	641,251	781,107
法人税等合計	285,818	322,241
四半期純利益	355,433	458,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	28,851	39,065
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,581	419,800

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	355,433	458,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,979	△7,716
退職給付に係る調整額	441	△3,421
その他の包括利益合計	△2,537	△11,138
四半期包括利益	352,895	447,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,044	408,662
非支配株主に係る四半期包括利益	28,851	39,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。